

## 私たちの未来のために、私たちに必要なこと ～国際放射線防護委員会（ICRP）の協力による対話の継続～

日時・場所： 7月8日（土） 9日（日） 伊達市役所シルクホール  
阿武隈急行線 大泉駅 徒歩5分

主催：伊達ダイアログセミナー実行委員会

安東量子（NPO 福島のエートス）

クリス・クレメント（ICRP 科学秘書官）

半澤隆宏（伊達市）

黒田佑次郎（福島県立医科大学）

ジャック・ロシャール（ICRP）

荻野晴之（ICRP 科学秘書官補佐）

参加団体：福島県立医科大学、福島のエートス

フランス放射線防護原子力安全研究所（IRSN）

フランス原子力防護評価センター（CEPN）

経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）

後援



伊達市

同時通訳：株式会社ヒラノ

参加自由、参加費無料

報道関係者の皆さまへ：取材は、事前の申し込みは必要ありません。ご自由にお越し下さい。

同時通訳機貸出の際に、名簿に記名と連絡先（携帯電話番号）を会場で記入していただきます。

目的：本年4月までの、避難指示解除準備区域および居住制限区域の避難指示解除によって、双葉町・大熊町と帰還困難区域を除く福島県内の避難指示区域の解除が完了した。避難指示が解除されたこれらの地域では、居住や生活の自由が戻ってきた一方、長期の避難指示による社会的、心理的な影響はいまだに残っており、新しい平常な暮らしが戻るまでには、相当の時間がかかるものと見込まれている。さらに、これ以外の地域においても、避難指示解除の時期の違いによって、復興の状況の違いが顕在化している。帰還困難区域においては、いまだ避難指示解除は不明瞭で有り、状況はより困難でさえある。結果として、福島県内の住民は、それぞれが大きく異なる問題に直面している。時間の経過により、状況の複雑さを把握することは難

しくなり、また、それぞれが暮らすことを選択した場所の共通した将来像を共有することは、さらに困難となった。そこで、今回のダイアログセミナーの目的は、主として、これまで過去のダイアログセミナーに参加していただいた、福島県内在住の各地域の人たちにお声がけし、現状についての見解を共有することとした。これまでの6年以上、様々な試練に向き合ってきた地域の人びとが、現状への考えと、さらなる長期の年数がかかることが不可避である福島県内全体の復興に対する期待と希望について語りあう機会としたい。

日程：7月8日（土） 司会： ジャック・ロシャール、安東 量子

- 9:30 開始
- 9:30～ 9:35 はじまりの挨拶 ジャック・ロシャール
- 9:35～ 9:45 挨拶：仁志田伊達市長
- 9:45～10:05 浜通りの現状と課題：福島民報 早川 正也
- 10:05～10:25 南相馬・小高の現状：包括支援センター 平瀬 朱美
- 10:25～10:45 帰還後の自主避難者の支援：NPO ビーンズふくしま 富田 愛
- 10:45～11:05 葛尾村：葛力創造舎 下枝 浩徳
- 11:05 コーヒーブレイク
- 11:15 ミニ・パネルディスカッション 〈避難指示解除後の農業の再開〉  
司会：菅野 クニ（飯舘村）  
高橋 日出夫（飯舘村松塚）  
菅野 源勝（川俣町山木屋）  
廣野 晶彦（川俣町山木屋）
- 12:00 昼食＝弁当を用意
- 12:50～13:20 保原太鼓演奏：二六晦日町若連
- 13:20～13:40 解除から3年、何が変わったか：ファームハウス都路 呑田 理美子  
(田村市都路)
- 13:40～14:00 測定の意義：福島のエートス 安東 量子

14:00           ダイアログ  
【参加者】 千吉良高志（双葉町） 半谷八重子（双葉町） 但野謙介（南相馬市）  
平瀬朱美（南相馬市） 菅野源勝（川俣町山木屋） 廣野晶彦（川俣町山木屋）  
高橋日出夫（飯館村） 呑田理美子（田村市都路） 神藤俊男（川内村）  
川崎理恵子（伊達市） 下枝浩徳（葛尾村） 門馬麻衣子（いわき市）  
富田 愛（ビーンズふくしま） 早川正也（福島民報） 大森 真（福島市）

16:00           コーヒーブレイク

16:30～16:40 本日のまとめ ジャンフランソワ・ルコント（ICRP）

16:40～17:00 まとめの議論

17:00           終了

18:00           レセプション＝懇親会：参加費無料・参加自由（申し込み不要）  
J Aふくしま未来・みらいホール保原（阿武隈急行線 保原駅前）  
挨拶：Jean-Christophe Niel（IRSN ジェネラルディレクター）

日程：7月9日（日）

9:30           開始    司会： ジャック・ロシャール、安東 量子  
9:30～ 9:40    一日目の振り返り  
9:40～10:00    コープふくしま 野中 俊吉  
10:00～10:30    月館小学校の児童劇について  
                ビデオレター：ランカスター大学 アリソン・ロイド・ウィリアムズ  
                前月館小学校長 中野 茂    月館中学校 関根 蒼海  
10:30～10:50    避難解除区域の介護施設の現状：いいたてホーム 三瓶 政美  
10:50～11:05    コーヒーブレイク  
  
11:05:～11:50    チェルノブイリ事故から30年後のベラルーシ：Nastassia Fiadosenka  
  
11:50～12:50    昼食＝弁当を用意

12:50～13:35 ミニ・パネルディスカッション 〈帰還困難区域の未来に望むこと〉

司会：安東 量子

門馬 幸司（大熊町）

千吉良 高志（双葉町）

半谷 八重子（双葉町）

13:35～13:50 アナスタシアからのコメント

13:50 ダイアログ

【参加者】 千吉良高志（双葉町） 半谷八重子（双葉町） 門馬浩治（大熊町）  
但野謙介（南相馬市） 和田智行（南相馬市小高） 菅野源勝（川俣町山木屋）  
山田猛史（飯舘村） 三瓶政美（飯舘村） 中野 茂 神藤俊男（川内村）  
関 孝男（川内村） 島 明美（伊達市） 門馬麻衣子（いわき市）  
早川正也（福島民報） 大森 真（福島市） 野中俊吉（コープふくしま）

15:50 コーヒーブレイク

16:20～16:30 本日のまとめ：ティエリー・シュナイダー（ICRP）

16:30～17:00 まとめの議論

17:00～17:10 ゲストからのコメント：Dominique Le Guludec（IRSN チェア）

17:10～17:20 おわりの挨拶：仁志田市長

17:20 終了

次回ダイアログは、11月25日（土）26日（日）川俣町山木屋で行う予定になっております。詳細は、福島のエートスサイトで告知いたします。

<http://ethos-fukushima.blogspot.jp>

---

■ICRP ダイアログセミナー（2011年～2015年）

<http://www.fukushima-dialogues.com>

（日本語・フランス語・英語）

■福島ダイアログ（2016年～）



<http://ethos-fukushima.blogspot.jp/p/fukushima-dialogue.html>